

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

大学院 電気通信学研究科 博士前期課程 人間コミュニケーション学専攻		
氏 名	横松 清史	学籍番号 0536024
論 文 題 目	個人にカスタマイズされたモバイルメディア 『パーソナル・シェル』の研究	
<p>要 旨</p> <p>現在、携帯電話はユーザーと情報、ユーザーと他人を結ぶなど人間と外の世界の仲介者になりつつある。通話では携帯電話を仲介として他の誰かと会話をしており、カメラで写真を撮る際には携帯電話を通して被写体を見ている。こうした現状より、将来はモバイルインターフェイスを通して人間は外界と情報のやり取りをするようになるのではないかと著者は考えた。</p> <p>そこで「人間が外界と交換するあらゆる情報を個人向けにカスタマイズし、各個人の知覚・情報処理能力を強化するインターフェイス」というコンセプトを提案し、このインターフェイスをパーソナル・シェルと名付けた。</p> <p>アンケートとブレインストーミングを行うことにより、ユーザーがパーソナル・シェルに対してどのような印象を抱いているか明らかにし、その結果に基づいて「相手情報表示機能」と「目標物ビジュアライズ機能」を試作した。</p> <p>相手情報表示機能は、街で遭遇した知人の氏名を表示し、円滑なコミュニケーションをサポートする。目標物ビジュアライズ機能は目標とする建物を視覚的に表示することにより、ナビゲーションに利用することができる。</p> <p>試作したシステムを用いて実験を行い、評価した結果、両機能の有用性、実用性が確かめられた。それにより、人々に受け入れられるための条件の1つである「実用的な機能」の実装を達成できた。しかし、パーソナル・シェルのコンセプトの実現には至っておらず、カスタマイズ性の向上など、様々な課題が残った。</p>		